

令和7年度事業報告

1. 事業概要

滋賀県文化振興条例（平成21年7月制定）の趣旨を踏まえ、平成23年2月に発足した「文化・経済フォーラム滋賀」は令和7年度に15年目を迎えた。

7年度は、地域の「まつり」に関わる課題に着目して勉強会やシンポジウムを行った。滋賀・近江は、「まつり」の宝庫と言われるほど多くの種類・数が地域で受け継がれているが、近年は人口減少や生活様式の変化により、継承の難しさが深刻化している。土地に根付く文化を象徴し、地域のつながりやアイデンティティを育む大切な核である「まつり」の継承について、提言をまとめた。

「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトについて、「2025文化で滋賀を元気に！賞」や、文化芸術の可能性を地域に取り入れる滋賀アートプラットフォーム事業を実施した。また、文化ビジネス塾では、独自に実施した滋賀県内の「まつり」関係者を対象としたアンケート調査の結果をもとに、専門家を交えて、近江のまつりの現状とこれからについて意見交換した。

「文化で滋賀を元気に！」する情報交換の場の提供について、総会に併せて一般県民を対象に演奏会や講演会を開催した。文化経済サロンでは、県内の都市部と農村部のまつりの現状と問題点をテーマに話題提供いただき、勉強会を行った。

「文化で滋賀を元気に！」する広報活動の展開について、ホームページによる発信や、ニュースレターによる事業の告知・結果概要の報告を行った。

○会員数は下記のとおり。 ※（ ）内は令和6年度会員数

会員数	153	(156)
内訳：個人	82人	〔県内74、県外8〕(84)
団体	27団体	〔県内26、県外1〕(28)
法人	44法人	〔県内44、県外0〕(44)

2. 事業実績

(1) 「文化で滋賀を元気に！」するプロジェクトの実施

① 「2025文化で滋賀を元気に！賞」の実施

文化の力で、活力あふれる地域社会の実現に貢献されている団体または個人に、感謝と今後の活動を期待して表彰する「2025文化で滋賀を元気に！賞」を実施した。県内各地から29件の取組に推薦があり、その中から4件が大賞（1件）と各賞（3件）に選ばれた。

- ・募集期間：7月11日（金）～10月31日（金）
- ・候補件数：29件

★大賞＜桜で紡ぐ地域の絆文化賞＞ トンボとその仲間たち（高島市）

☆各賞＜滋賀と世界をつなぐ共同体文化賞＞ 山中 suplex（大津市）

＜地域の力を未来につなげる文化賞＞ 特定非営利活動法人 BRAH=art.（大津市）

＜湖北の舞台がひらく文化賞＞ 中川能舞台（長浜市）

※（ ）内は主な活動地域

○表彰式：令和8年2月23日（月・祝）

受賞者・団体には、表彰状と賞金（大賞10万円、各賞5万円）を贈呈。

② 「文化で滋賀を元気に！」する調査研究、提言

各事業を通して調査研究を行うとともに、地域経済という観点から滋賀県の文化振興について考えた。

ア 滋賀アートプラットフォーム事業の開催

「文化芸術の可能性を地域に取り入れ、次世代にも魅力ある地域づくりを進める」という提言に基づき、文化芸術を通じた出会いや交流を目的とする「びわ湖・アーティスト・みんぐる」を実施した。

○ びわ湖・アーティスト・みんぐる『音楽と絵画でつづるおうみの民話 vol.2』の開催

甲賀市土山に伝わる民話「大蟹とお坊さん」を題材に、アーティストが子どもたちと民話の伝わる甲賀・土山の文化や暮らしをリサーチし、互いに交流しながら創作を深め、多様な表現が交ざり合うワークショップとコンサートを開催した。

ワークショップ

「大蟹とお坊さん」をアートにしよう！～大人から子どもへ、伝えて、つくろう

日 時：1回目 8月23日（土）10:00～16:00

2回目 9月14日（日）10:00～16:00

場 所：1回目 土山コミュニティセンター（甲賀市）

2回目 みなくるプラザ 鹿深ホール（甲賀市）

内 容：子どもたちが地域の人から「かにが坂飴」のこと、神社のお祭りなど、土山に伝わる暮らしの話を聞いて想像し作品を制作。つくった作品はコンサートの舞台に置き、舞台美術として楽しんでいただいた。

講 師：野田 幸江（現代美術家、ハナノエン店主・甲賀市出身）

コンサート

甲賀市土山に伝わる民話「大蟹伝説と祈り」

日 時：9月27日（土）14:00開演

場 所：甲賀市碧水ホール（甲賀市）

内 容：民話「大蟹とお坊さん」から着想を得た新曲を、滋賀ゆかりの若手演奏者によるピアノ四重奏と朗読で届けた。

出 演：山下 響（ピアノ・大津市出身）、高岸 卓人（ヴァイオリン・彦根市出身）、
中村 卓哉（ヴィオラ・彦根市出身）、松本 愛子（チェロ・京都市在住）
カノチヒロ（朗読・甲賀市出身）

作 曲：首藤 健太郎（大津市在住、国スポ障スポ2025行進曲担当）

美 術：野田 幸江

共 催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部、甲賀市、甲賀市教育委員会

後 援：滋賀県教育委員会、e-radio エフエム滋賀、エフエム花

○ びわ湖・アーティスト・みんぐる『C°vol.3～東洋と西洋の《関》』の開催

【本公演】

日 時：11月8日（土）14:00開演

場 所：中川能舞台（長浜市）

内 容：日本の音楽界をけん引する旬の若手作曲家に、滋賀の風土や文化に触れて弦楽四重奏曲を作曲いただき初演するコンサート。今回は、日本の音と言葉を源流から探り東西をつなぐことを主軸に創作活動をしている桑原ゆう氏に新曲を委嘱した。長浜・湖北の観音信仰を背景に仏名会の儀礼と構造を下敷きにした新曲が完成し、長浜市内に残る住宅能舞台を会場に、弦楽四重奏と薩摩琵琶の編成で初演した。*サントリー芸術財団佐治敬三賞 推薦コンサート

出演：ルリトラノオ弦楽四重奏団

亀井 庸州（ヴァイオリン）、松岡 麻衣子（ヴァイオリン）

安田 貴裕（ヴィオラ）、竹本 聖子（チェロ）

ゲスト：久保田 晶子（琵琶）

作曲：桑原 ゆう（国立音楽大学准教授、東京芸術大学非常勤講師）

【プレ公演】

淡座×C³ ロビーコンサート

日時：9月1日（月）13:00 開演

場所：びわ湖ホール メインロビー（大津市）

内容：作曲家・桑原ゆうが参加する現代音楽ベースのクリエイショングループによる東西をつなぐコンサートを開催した。

出演：淡座

三瀬 俊吾（ヴァイオリン）、竹本 聖子（チェロ）、本條 秀慈郎（三味線）、

桑原 ゆう（作曲、編曲）

共催：滋賀県立劇場びわ湖ホール

京都市立芸術大学現代音楽研究会 × C³

～J.S.バッハへのオマージュ 生と死の《関》～

日時：9月20日（土）15:00開演

場所：日本基督教団 大津教会（大津市）

内容：近現代音楽の演奏・研究を行っている京都市立芸術大学音楽学部の学生たちとのコラボ企画。今回は、晩年の作品を描くことで浮かび上がる生と死の《関》をテーマにした選曲と、バッハ作品群における原曲に基づいて作曲専攻の学生たちの新作などを初演。

出演・共催：京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

共催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部

後援：滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、長浜市、長浜市教育委員会

協力：中川能舞台、一般社団法人淡座、京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

イ 文化ビジネス塾（第18回）

県内の「まつり」に関するアンケート結果を踏まえ、令和時代の「まつり」のあり方について意見交換した。

日時：11月3日（月・祝）14:00～16:00

会場：滋賀県立文化産業交流会館第一会議室（米原市）

テーマ：「近江まつりの今とこれから～地域文化と経済の好循環をめざして～」

内容：第1部 「近江のまつりの今とこれから」アンケート調査結果を中心に

講師：加藤 賢治（文化・経済フォーラム滋賀幹事

成安造形大学教授 副学長）

第2部 シンポジウム

司会：高梨 純次（文化・経済フォーラム滋賀幹事

公益財団法人秀明文化財団理事）

パネラー：市川 秀之（滋賀県立大学教授）

高橋 順之（伊吹山文化資料館学芸員）

對馬 佳菜子（地域文化コーディネーター）

コーディネーター：加藤 賢治

共催：滋賀県立文化産業交流会館（ビジネスカフェ in 文化産業交流会館）

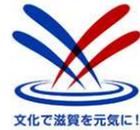
公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

ウ 提言研究

当フォーラムの事業と連携しながら、滋賀県の様々な現状から文化と経済について、新たな展開につながる提言を行う「提言研究」。令和7年度は、滋賀県各地に多く受け継がれている「まつり」の課題と継承について、地域社会再生との関わりなどを踏まえ、「まつり」の今とこれからを考えた。

③ 「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進

県内において文化振興に関する事業を行う団体等多くの方が、シンボルマークの利用を通じて、「文化で滋賀を元気に！」していく気運や一体感が醸成されるよう利用の促進に努めた。



(2) 「文化で滋賀を元気に！」する情報交換の場の提供

① 総会・講演会・交流会の開催

講演会は、チベット人歌手のバイマーヤンジン氏を迎えて開催した。異文化理解、家族のあり方、子育て、教育、道徳、幸せ、人権など、ヤンジンさんが経験したさまざまな道のお話をお聴きした。

日 時：2月24日（月・休）14:00～16:30（演奏会・表彰式・講演会・提言発表）
16:50～17:20（総会）
17:30～19:00（交流会）

会 場：びわ湖ホール小ホール（講演会）、研修室（総会）、ラウンジ（交流会）（大津市）
参加者：（講演会）133人（総会）38人（交流会）48人

ア 演奏会：びわ湖ホール声楽アンサンブル

イ 「2024文化で滋賀を元気に！賞」表彰式

大賞＜映画で地域活性化文化賞＞ ムラヤマ・J・サーシ（東近江市）

各賞＜和太鼓で世界をつなぐ文化賞＞

和太鼓で世界をつなぐ滋賀夢プロジェクト（彦根市）

＜水源を歩く、山の旅文化賞＞ 高島トレイル連絡協議会（高島市）

＜セタシジミから広がる文化賞＞ セタシジミ祭実行委員会（大津市）

ウ 講演会：「幸せの近道～チベット人の私が日本で暮らして思うこと～」

講師：バイマーヤンジン（歌手）

エ 第15回総会

＜議案＞

第1号 令和6年度事業報告(案)について

第2号 令和6年度収支決算(案)について

第3号 令和7年度事業計画(案)について

第4号 令和7年度収支予算(案)について

第5号 役員を選任について

オ 「文化で滋賀を元気に！」する提言発表

提言：「公共建築を次世代に引き継ぐ～建築文化の振興をめざして～」

発表者：秋村 洋（文化・経済フォーラム滋賀幹事）

玉田 浩之（滋賀県立大学准教授）

② 「文化経済サロン」の開催

様々な分野で活躍される方を講師に招き情報交換する「文化経済サロン」。県内の都市部と農村部のまつりの現状と問題点をテーマに話題提供いただいた。

- ア 日時：7月9日(水) 14:00～16:00
会場：びわ湖ホール研修室(大津市)
講演：「近江のまつりの課題と展望①」
～都市のまつりの今とこれから 大津祭を対象に～
講師：木津 勝(大津市歴史博物館副館長)
船橋 寛明(大津祭曳山連盟理事長)
コーディネーター 加藤 賢治
- イ 日時：9月17日(水) 14:00～16:00
会場：びわ湖ホール 研修室(大津市)
講演：「近江のまつりの課題と展望②」 ～鎮守の神のまつりの今とこれから～
講師 市川 秀之(滋賀県立大学教授)
コーディネーター 加藤 賢治

(3) 「文化で滋賀を元気に！」する広報活動の展開

① ホームページによる発信

当フォーラムの紹介や入会案内をはじめ、各種事業の情報提供や「文化で滋賀を元気に！」シンボルマークの利用促進を行った。

② ニュースレター第13号の発行

掲載内容：文化ビジネス塾および文化経済サロン開催報告、第16回総会・講演会の告知ほか

③ 会員活動チラシの送付

会員の活動チラシ等を当フォーラム事業案内に併せて、会員あてに送付した。

(4) 「文化で滋賀を元気に！」する事業への後援、参画等

① 後援：4件(6件) ※()内は令和6年度実績数

② 参画：「びわ湖の春 音楽祭2025」

開催日：4月26日(土)、27日(日) 会場：びわ湖ホール ほか

③ 加盟：公益社団法人びわこビジターズビューロー、一般社団法人内外情勢調査会

3. 幹事会の開催状況

11回開催

(1月9日(木)、2月13日(木)、3月13日(木)、4月10日(木)、5月8日(木)、6月12日(木)、7月10日(木)、9月11日(木)、10月9日(木)、11月13日(木)、12月11日(木))

以上